

公共下水道事業会計

令和3年度下半期 大竹市公共下水道事業損益計算書

(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	224,096,710		
(2) 一般会計負担金	169,649,259		
(3) その他営業収益	29,352,231	423,098,200	
2 営業費用			
(1) 管渠費	26,941,139		
(2) ポンプ場費	59,047,725		
(3) 処理場費	149,043,984		
(4) 業務費	14,568,516		
(5) 総係費	18,701,137		
(6) 減価償却費	434,038,143		
(7) 資産減耗費	4,528,955	706,869,599	
営業損失(△)			△ 283,771,399
3 営業外収益			
(1) 受取利息	1,412		
(2) 他会計負担金	42,453,955		
(3) 長期前受金戻入	235,295,950		
(4) 雑収益	246,882	277,998,199	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	15,803,196		
(2) 雑支出	15,878,158	31,681,354	246,316,845
経常利益			△ 37,454,554
5 特別利益			
(1) その他特別利益	0	0	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	0	0	0
当期純損失			△ 37,454,554
前期繰越利益剰余金			541,743,134
その他未処分利益剰余金変動額			0
当期末処分利益剰余金			504,288,580

令和3年度大竹市公共下水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

資産の部

1 固定資産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		1,859,646,963		
ロ 建物	1,072,552,320			
減価償却累計額	△ 753,111,155	319,441,165		
ハ 構築物	7,428,194,228			
減価償却累計額	△ 3,085,715,142	4,342,479,086		
ニ 機械及び装置	5,114,148,970			
減価償却累計額	△ 2,734,659,966	2,379,489,004		
ホ 車両運搬具	2,515,236			
減価償却累計額	△ 2,003,474	511,762		
ヘ 工具、器具及び備品	18,066,218			
減価償却累計額	△ 4,479,566	13,586,652		
ト 建設仮勘定		494,651,500		
有形固定資産合計			9,409,806,132	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		48,208,000		
ロ 電話加入権		2,016,000		
無形固定資産合計			50,224,000	
固定資産合計				9,460,030,132
2 流動資産				
(1) 現金預金			806,288,830	
(2) 未収金		283,606,698		
貸倒引当金	△ 2,107,826	281,498,872		
(3) 貯蔵品			423,300	
(4) その他流動資産			300,000	
流動資産合計			1,088,511,002	
資産合計				10,548,541,134

負債の部

3 固定負債	円	円	円	円
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,425,746,184			
ロ その他の企業債	<u>2,500,000</u>			
企業債合計			2,428,246,184	
(2) 庁舎建設負担金				46,971,000
(3) 引当金				
イ 修繕引当金	39,193,517			
ロ 退職給付引当金	<u>22,061,000</u>			
引当金合計			<u>61,254,517</u>	
固定負債合計				2,536,471,701
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	184,249,101			
ロ その他の企業債	<u>5,200,000</u>			
企業債合計			189,449,101	
(2) 庁舎建設負担金				1,237,000
(3) 引当金				
イ 賞与引当金	3,146,652			
ロ 法定福利費引当金	<u>615,340</u>			
引当金合計			3,761,992	
(4) 未払金				221,920,127
(5) その他流動負債				1,009,622
流動負債合計			<u>1,009,622</u>	417,377,842
5 繰延収益				
長期前受金			7,441,803,978	
収益化累計額			<u>△ 3,602,117,519</u>	
繰延収益合計				3,839,686,459
負債合計				<u><u>6,793,536,002</u></u>

資 本 の 部

6 資 本 金	円	円	円	円
(6) 自 己 資 本 金				
イ 組 入 資 本 金		717,772,532		
自 己 資 本 金 合 計			717,772,532	
資 本 金 合 計				717,772,532
7 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額	924,074,950			
ロ 負 担 金	74,735,228			
ハ 国 庫 補 助 金	457,535,084			
ニ 一 般 会 計 補 助 金	1,182,151			
ホ その他資本剰余金	868,516,607			
資 本 剰 余 金 合 計			2,326,044,020	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金	33,900,000			
ロ 建 設 改 良 積 立 金	173,000,000			
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	504,288,580			
利 益 剰 余 金 合 計			711,188,580	
剰 余 金 合 計				3,037,232,600
資 本 合 計				3,755,005,132
負 債 資 本 合 計				10,548,541,134

令和3年度下半期 大竹市公共下水道事業の概況

公共下水道は住民が安心して快適な生活を営むうえで必要不可欠なものであり、その良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全を図るために、施設の改築更新や維持管理などを行いながら事業運営を行っています。

また、本市の下水道整備は地方の小都市としては比較的早くから事業展開を行ってきたことで、市街化区域内においてはほぼ整備が終わったものとなっています。

今年度も利益を確保することができましたが、施設の老朽化による改築更新費の増大や処理人口が年々減少していることで、下水道経営は非常に厳しい状況となっています。

今後も安定した事業経営を行うために、さらなる経営状況の改善に努めてまいります。

①営業

令和3年度下半期の有収水量は、1,430,157 m^3 （1日平均7,858 m^3 ）で、令和3年度上半期と比較して、9,507 m^3 （0.67%）の増加となりました。

本市では、人口普及率は95.55%に達しており、区域内水洗化率は99.65%で、全国的に見ても高い水準を維持しています。

②建設改良（消費税及び地方消費税込み）

当期に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・大竹下水処理場中央監視装置改修工事	19,800,000円
・晴海地区管渠布設工事（第1工区）	10,345,500円